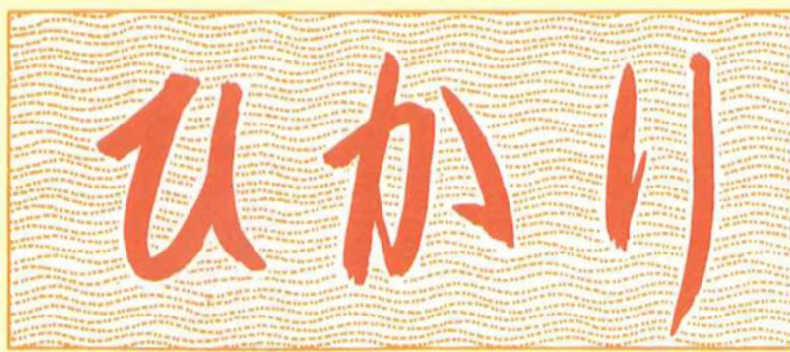


令和5年11月1日  
発行  
浄土真宗本願寺派  
和歌山教区日高組  
発行責任者  
永原智行



よかったね、どんな悪戯も  
阿弥陀様は叱らないんだよ  
この子をこらえておこうと  
阿弥陀様はやさしいやさしい  
仏様だよ

深川倫雄和上「よくきたね」から



仏前結婚式 (由良町蓮専寺)

ヒダカくん・ひかりちゃんの

『御文章』のお話その23

五重の義章(二帖十一通)

それ、当流親鸞聖人の勸化のおもむき、近年諸国において種々不同なり。これおほきにあさましき次第なり。そのゆゑは、まづ当流には、他力の信心をもつて凡夫の往生を先とせられたるところに、その信心のかたをばおしのけて沙汰せずして、そのすすむることばには、「十劫正覚のはじめよりわれらが往生を弥陀如来の定めましましたまへることをわすれぬがすなはち信心のすがたなり」といへり。これさらに、弥陀に帰命して他力の信心をえたる分はなし。さればいかにも十劫正覚のはじめよりわれらが往生を定めたまへることをしりたりといふとも、われらが往生すべき他力の信心のいはれをよくしらずは、極楽には往生すべからざるなり。またあるひとのことばには、「たとひ弥陀に帰命すといふとも善知識なくはいたづらごとなり、このゆゑにわれらにおいては善知識ばかりをたのむべし」と云云。これもうつくしく当流の信心をえざる人なりときこえたり。そもそも善知識の能といふは、一心一向に弥陀に帰命したてまつるべしと、ひとをすすむべきばかりなり。これによりて五重の義をたてたり。一つには宿善、二つには善知識、三つには光明、四つには信心、五つには名号。この五重の義、成就せずは往生はかなふべからずとみえたり。されば善知識といふは、阿弥陀仏に帰命せよといへるつかひなり。宿善開発して善知識にあはずは、往生はかなふべからざるなり。しかれども、帰するところの弥陀をすてて、ただ善知識ばかりを本とすべきこと、おほきなるあやまりなりとこころうべきものなり。

あなかしこ、あなかしこ。

◎語句  
 種種不同…いろいろな異義があること。ここでは善知識だのみ、十劫秘事などを批判している。

先：第一。  
 沙汰せずして…問題にしないで。

十劫正覚の…時宗（一遍上人が開いた宗派、海南市の日限地藏尊）等の影響を受けた十劫秘事（安心）の異義のこと。

十劫秘事…阿弥陀仏は、十劫のむかしに正覚成就した。そのときに、衆生の往生も成就した。このことを忘れないのが信心であると時宗の人は主張した。真宗の信心は、仏願の生起が私の上に働いていることであると理解するのである。

いたづらごと…むなしく、無益なこと。

能…はたらき。職能。役目。

五重の義…往生浄土のための五種の因縁。

宿善…過去世に積んだ善根。獲信のための善き因縁。如来の調育のはたらき。

善知識…よきとも。巧みなる教化者。

光明…仏・菩薩の身心に具わる光。迷いの闇を破し、真理をさとらわす仏・菩薩の智慧を象徴する語。

名号…信後の称名。

宿善開発…宿善が開け起こること。

◎現代語訳・大意  
 近ごろ諸国で親鸞聖人のみ教えがさまざまに異なっ

て伝えられているのは、嘆かわしいことです。浄土真宗では、他力の信心によって凡夫が浄土に往生させて

いただくのですが、その信心を説かず、「阿弥陀如来が十劫の昔に私たちの往生を定められているのを忘

れないのが信心だ」という者がいます。これでは、阿

弥陀如来に帰命し、他力の信心を心得たということに

なりませぬ。また、「阿弥陀如来に帰命するといっ

ても、善知識がいなければできないことなので、ただ善

知識をたのみとするべきである」という人もいますが、

これも間違っています。善知識をあてたよりにするこ  
 となく、二心なく阿弥陀如来に帰命しなさいというこ  
 とです。

そこで、宿善・善知識・光明・信心・名号という

「五重の義」がたてられています。このことが成就し  
 なければ、浄土に往生することはできません。です

から善知識は阿弥陀如来に帰命しなさいと私たちを導く

使いなのです。善知識にあうことは必要ですが、阿弥

陀如来に帰命しないで、善知識ばかりをたのみとする

のは、大きな誤りであろうと知るべきです。

**ひかりちゃん** 五重義章って、浄土宗の人がいう

「五重を承けた」の五重のことなの？

**ヒダカくん** それは、五重相伝といって、浄土宗の

宗義の秘奥を師が口ずから伝える儀式のことだよ。こ

のお話とは違ふよ。この御文章の五重義章には、二

つのことが書かれているよ。

**ひかり** ふたつって。

**ヒダカ** 一つは、十劫安心。アマダさまは遠い昔にも

うすでに私たちを救うためにあらわれたって聞い

るよね。十劫のむかしに阿弥陀仏が正覚成就したとき

に、衆生の往生も成就した。これを忘れないのが信心

ですよとの主張があつたんだ。

**ひかり** 十劫の昔に、アマダさまが人々救うから、そ

の後の人は何もしなくてもいいという考えになつたの

ね。

**ヒダカ** そうだよ。アマダさまが自動的に救ってくれ

ていると思う人がいたんだ。『歎異抄』に「弥陀の五

劫思惟の願をよくよく案ずれば、ひとへに親鸞一人が

ためなりけり。」とあるような考えが欠けているのだ

よ。すでにホトケになつているから今更アマダさまを

たのみこともないし。また、アマダさまが往生を決め

て下さっているのだから、それはそれでほつといても

いいんだという人もいるんだよ。異安心なんだ。

**ひかり** 異安心って？

ね。

**ヒダカ** 異なつた信心、間違つた信心ということだよ。

正しく真宗のことを聞かず勝手に思いこむことや、誤つ

た先生について誤つたことを信じることを言うんだ。

五重義章の二つめは、「善知識だのみ」をただしてい

るよ。蓮如上人は正しい信心獲得のすがたについて、

その始終を「五重の義」としてお示しく下さつてい

んだ。

**ひかり** 往生浄土のための五種の因縁ね。

**ヒダカ** その通りさ。他力信心獲得の過程を示す。宿

善・善知識・仏の光明・信心・名号の五つなんだね。

**ひかり** どういうはたらきなのですか

**ヒダカ** 宿善によって善知識にあり、本願の法を聞き、

光明のはたらきによって信心獲得の身となり、他力の

信心を得れば必ず名号が称名念仏として出てくるとい

うことだね。

**ひかり** もう少し詳しく教えてよ。

**ヒダカ** いいかい、今生で本願の法にあり、信心喜ぶ

身にならせていただけただけのことを、「宿善」のおかげと

いいます。次に、「善知識」にあうのです。釈迦仏、

七高僧、宗祖聖人、歴代相承の宗主、更に僧俗を問わ

ず本願の信を勧めてくださる人すべてを、善知識とい

います。阿弥陀如来の「光明」は、わたしたちをお救

いくださいます。他力真実の「信心」をいただき、

「南無阿弥陀仏」と報恩感謝のお念仏を申し上げます。

この称名念仏を蓮如上人は「名号」と表します。どう

だい？

**ひかり** このご文章は、何を示したいの？

**ヒダカ** 今回の御文章は、十劫安心、善知識だのみを

ただしているよ。しかし、蓮如さんが言いたいのは、

五重義で正しい信心獲得のすがたを示したかったんだ

ね。

## 昨今のお墓事情、墓じまいの増加

近年、お墓の承継者がいないことから、墓じまいを検討する人が増えてきています。筆者が今年に入って受けた墓じまいの相談はすでに3件目。そのうち2件は、承継者がいなかったため、自分が元気なうちにお墓をしまふという理由でした。

墓じまい、地蔵じまいの専門業者なる会社も存在します。これらの業者に依頼すると、墓標や地蔵菩薩は跡形もなく粉碎され、建設用に再利用されるか、産業廃棄物として処分される。時代の流れとはいえ、礼拝の対象であったお墓や地蔵菩薩がこのような扱いを受けることに、複雑な気持ちになる人も多いでしょう。

一方で、承継者がいるが、遠方に住んでいるため墓守りなどの面倒をかけたくない、日常的に管理ができないのならいっそ処分してしまおうという思いになるのも無理のないことでしょう。

先日、筆者の寺院に、番号非通知の電話がかかってきました。中年男性の声で、お墓が遠くお参りに行く機会が減多にないので雑草に困っているという相談でした。そこで雑草が生えないように防草シートを墓に敷くことを勧めました。男性は、その提案に納得した様子でした。

この男性のように、安易に墓じまいをせず、真摯に問題に向き合い、今できる最大限のことを考えてくれる人が増えてほしいと思います。

墓じまいの増加は、少子高齢化や核家族化などの社会構造の変化が影響していると考えられます。しかし、お墓は先祖を偲ぶ大切な場所です。安易に墓じまいをせず、さまざまな選択肢を検討し、最善の方法を探すことが大切です。昨今、お墓の形態も変化し、納骨堂や樹木葬、散骨など、さまざまな形式が選択できるようになっています。お墓を承継する人も、夫婦や個人など、家族単位で考えることが増えてきている中で、時代の変化に合わせて、お墓のあり方や管理方法を見つめ直すことが大切だと思います。

過疎対応支援員 楠原

# 法悦クイズ

### 【応募方法】

ハガキ、日高組ホームページにてご応募してください。

#### ○ハガキで応募

① 法悦クイズの答え ※必須
② 住所 ※必須
③ 氏名(ふりがな) ※必須
④ 年齢
⑤ 電話番号
⑥ 所属寺(〇〇寺) ※必須
⑦ 「ひかり」に対するご意見 ご感想等

63円 切手	〒649-1113 和歌山県日高郡 由良町阿戸244番地 教専寺内 日高組事務所 行
-----------	---

#### ○ホームページから応募

日高組ホームページのメニュー内にあります応募フォームより、必要事項をご記入の上送信ください。

日高組ホームページへのアクセス方法

下記のいずれかの方法で、日高組ホームページにアクセスできます。

#### ○URLを直接入力してアクセス

下記のURLを直接入力してアクセスしてください。

<http://hidakaso.jimdo.com>

#### ○バーコード(QRコード)からアクセス

お使いのスマートフォン等にQRコード読み取り機能で右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。アドレス入力しなくても手軽にアクセスできます。



#### 【応募締め切り】

2024(令和6)年1月31日(必着) 発表は次号です

☆正解者の中から抽選で10名の方に『粗品』を進呈します。

「③恵信尼」の正解は「一二〇号の正解は親鸞聖人の奥様は恵信尼さまで、覚信尼は娘です。」でした。

## Q：お墓を建てる目的は？

- 次の①～③の中から一つ選んで番号を書いてください。
- ① 子孫に自分のことを思い出してもらつたため
  - ② 仏となった故人をしのぶため
  - ③ 自分が死んだときに入るため

正解者の中から、次の方に粗品を進呈いたします。

由良町 辻 博文 様	由良町 高瀬 順子様
由良町 濱崎香代子様	由良町 畑中 靖子様
由良町 岩崎 恵子様	由良町 坂口 正幸様
由良町 塩路與三郎様	由良町 中恵 香織様
由良町 小林 民子様	由良町 岩橋美知子様

## 法話

和歌山教区教務所発行「阿弥陀さまと私」には、お仏壇のお飾りについてわかりやすく紹介されています。その中に「お軸に名号・絵像・御影の三種があり、四つの組み合わせがあります。」と記されています。光専寺のお内仏さんのご本尊中央は阿弥陀如来、しかし、右のお軸には

「弥陀ノ名号トナヘツ、信心マコトニウルヒトハ」、  
左には

「憶念ノ心ツネニシテ 佛恩報スルオモヒアリ」  
(原文)。

のご和讃がかけられています。

「衆生を信じさせずにはおられないという阿弥陀仏の名号を称えながら、称える心が名号のいわれをそのまま信ずる身になった人は、如来のはたらきをいつも憶えて忘れない心が具わるとともに仏恩報謝の念が自然にほとばしり出てきます。」

(白川晴頭先生訳)

親鸞聖人は五百数十ものご和讃をお作りになりました。その中でも、浄土和讃、高僧和讃、正像末和讃をまとめて、三帖和讃と呼んでいます。ご和讃の内容全体の大意は、冠頭讃最初の二首で示されているとのことですが、その第一首がお内仏にかけられています。ずっと「何か文が書いてある」「親鸞聖人や蓮如上人の絵と違う」「名号でもない」「誰の字だろう」と思っていました。第二首は

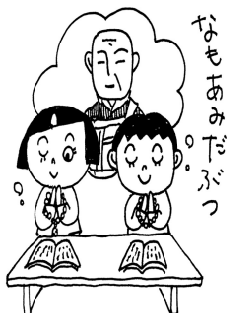
「誓願不思議をうたがひて 御名を称する往生は 宮殿のうちに五百歳 むなしくすべとぞきたまふ」  
「信心一つで浄土往生させると誓われた勝れたはたらきを疑って、自分が称えた念仏に功績(てがら)

を期待して往生しようとするれば、方便化土と呼ばれる世界に五百年のあいだ止まって、いたずらに虚しい時を過ごさなければならぬ」

(白川晴頭先生訳)

さて、自分の生活を振り返ってみると、恥ずかしながら報謝・感謝の生活とはなんと程遠いことか、まったく情けないことでもあります。どんなに阿弥陀さまのことを思い続けるようにしても、すぐ欲が出て、別のことに心が移ります。心を一つのことにおくことを教えてくださり、生きられるよう支えてくださる阿弥陀さま、親鸞さま、多くの方々のおはたらきを忘れずに、と思うのですが同じことを繰り返してしまふ、なんともなりません、それが私です。今さらですが、お軸のことを教えてもらいたくないあ、そう思っても父も母もいません。答えを教えてください。でも、じっくりと考える時間を与えて頂いたと考えることにします。お仏壇の前に座り和讃を焦らず味わっていきます。

(北山)



なまのめだぶつ

## 門徒心得

## お墓を建てる

新たにお墓を建てようと考えておられる方のなかには、自分が亡くなる前に建てておかないと後の者が場所選びや金銭面で苦労する、という思いから、いわゆる生前墓を建てる方が多いという現状があります。それは、言葉を換えますと、お墓を「自分が死んだときに入る」ところと想っているからでしょうし、自分が入っているお墓に「会いにきてもらいたい」との願望が込められているからではないでしょうか。これらの心情は、すべてお墓に入るであろう本人側の心情なのです。しかし、お墓というものは今生きている側の人間が亡くなった方を大切に思い、その遺徳を偲ぶ心の方よりどころとして建てるのがお墓です。お墓を建てて、後に残った者にたいして「こうしてくれ、ああしてほしい」と指示するのはなく「自分ほどのような死に方をしようが、阿弥陀さまの浄土に生まれさせていたたく」という心を伝えるほうが大事だと思います。その人を偲ぶために、後の者がお墓を建てるのが、本来のすがたではないでしょうか。

(鈴木章吾)



六月三日、由良町蓮專寺本堂に於いて、田渕善文さん、中谷美緒さんの仏前結婚式が営まれました。前日は線状降水帯による大雨により甚大な被害に見舞われましたが、当日は晴れ渡り、本堂にはこち良い風が通り抜けました。

挙式は坊守が司会、新発意が雅楽の笙で法要に参加。生の演奏は法要を厳かにします。お勤めは「正信偈音楽法要」で今まで新婦さんは蓮專寺での法要・結婚式にキーボード奏者として参加いただきました。今日は自分たちの晴れ舞台です。当人同士の希望で衣装は前撮りを済ませていたので平服（オシヤレ着）でとのことでした。さわやかで喜び溢れるお式になりました。



結婚指輪交換



# 仏前 結婚式

実は新婦さんのご両親も、平成9年に蓮專寺本堂で仏前結婚式を営まれました。（ひかり42号表紙掲載）

親子二代に渡っての結婚式！こんなうれしい事はありません。式の後、ご両家のお祝いの席に招待を頂き、時間を忘れて楽しく過ごさせていただきました。仏前結婚式という「お仏事」を催してくださいましたご両家に心より感謝申し上げます。

蓮專寺住職・岩崎法明



H9年には新婦のご両親も蓮專寺本堂で挙式（ひかり42号表紙）

蓮專寺で

親子二代の挙式



# 子ども食堂の子どもたちが お寺で夏休み宿泊体験

8月3〜4日、大阪市の子ども食堂、日高町妙願寺（楠原晃紹住職）にしなり☆つながりの家を利用して、自然豊かな環境の中で宿泊やさまざまな体験を楽しんだ。

子ども食堂は、西成チャイルドケアセンターが運営、(株)ワライフ（本社東京都新宿区）の江川代表が子ども食堂に着目し田舎で過ごすことの少ない子どもたちに自然の中で楽しんでもらいたいと、合同会社寺サポート（大野代表）に相談を持ち



## 境内に子どもたちの声が響き渡る



初日の昼食は流しそうめんをいただきました

かけ、お寺での宿泊体験として当寺が受け入れた。

今回、幼児から高校生までの子どもや保護者、ボランティアら約30人が参加、地元の子どもや住民らも混じってのイベントとなった。

初日はヤギとのふれあい、流しそうめん、海水浴、バーベキュー、きもだめし、花火などを楽しみ、本堂や境内のテントで宿泊、2日目はラジオ体操、朝のおつとめ、かまどで焚いたご飯でおにぎりを作り、竹の水鉄砲やスイカ割り、ピザ窯を体験、地元の日曜学校の子どもたちも2日間参加して交流を深めた。

当寺の門徒らも収穫したばかりの夏野菜などを差し入れるなど協力し、山あいの小さな集落に終始にぎやかな声が響き渡った2日間だった。



夕食はバーベキューと焼きそば。  
地元の小学生も加わって夜遅くまで  
肝だめしや花火で楽しく過ごしました。



お寺で飼っているヤギとふれあい、大学生がお化けに仮装してきもだめしと花火は大盛り上がり、夜更けまで楽しみました。



ボランティアとして参加された5名は関東の大学生ばかりで、このイベントをSNSで知り参加、和歌山のお寺とは聞いていたがどこに行くのかわからせていなかった様子。取材に「田舎のお寺は癒やされる、海もきれいで風景も最高、薪で炊くご飯の香りに両親の故郷を思い出した、オクラやトマトなどの夏野菜がどれも新鮮で美味しかった」と喜んでいました。



2日間遊び疲れて、ぐったりとした子どもたちも。2日目は地元子ども会恒例行事のラジオ体操に参加し、おあさじ（晨朝勤行）のあと、かまどで炊いたご飯をおにぎりにしました。水鉄砲づくり、スイカ割り、ピザ窯でみんなが焼いたミニピザを食べ終了しました。

子ども食堂の川辺代表は、「子どもたちの表情がいつもと違い活き活きとしていた、みんなを連れてこられて感謝しています」と話した。



当寺の楠原住職は、教区の過疎対応支援員として活動しており、今回の受け入れについて感想を伺うと「過疎地の寺院活性化に希望の光を見いだせた、地域や世代を超えたつながりに意義を感じた、仏法に触れていたお寺に機会にもなった、なによりも自身が童心に帰って楽しんだ、企業の社会貢献事業に感謝、全国の寺院に広がれば、そして何よりも、実践運動重点プロジェクトでもある「子どもたちの笑顔のために」を具体的な活動としてお寺を舞台に実践できたことは大きな収穫だったと思います。なにはともあれ、みなさん、けがや病気もなく無事に2日間を過ごせたことに安堵しています。」と語った。





ご遷座・ご遷仏法要を厳かに営み満堂となった



# 大規模な本堂修復事業 始まる（衣奈西教寺）



由良町衣奈西教寺（藤田眞雄住職）で本堂の耐震補強を加えた大規模修復が始まった。  
西教寺は数年前より屋根の雨漏りが続き、シロアリ被害も見受けられたことで、住職・門徒総代らが修復を計画し、7月にはご遷座・ご遷仏法要が営まれた。ご門徒さんらは念願の修復を喜ばれた。

## 読者の声

※親鸞聖人御誕生八五〇年立教開宗八〇〇年慶讃法要に参加させていただきました。今回のひかりを拝見し、新たに参加させてもらってよかったですとおもいました。  
※新しい知識を頂きありがとうございます。  
※ひかり楽しく読んでいます。ありがとうございます。  
※ひかりを読ませて頂くようになって知らないことばかりです。新鮮な気持ちで読ませてもらっています。  
※今回のひかりは団体参拝の様子がわかり興味深く読みました。また知人の感想ものっており身近に感じました。  
※いつもながら有難く拝読させて頂いてます。親鸞聖人も結婚しておられたとは初めて知りました。  
※毎回色々知らないことが多く、勉強になっています。  
※個人的に何度か京都博物館へ足を運び、絵画、絵巻など色々鑑賞しました。今回も特別展が開催されるという事で予定し鑑賞してきました。書や絵巻などにふれ歴史をかんじてきましたが、鑑賞されている方々は年齢層が多く目立ち若い人の関心が見られなかったです。  
※コロナから少しずつ快方に向かいつつもまだまだ暑い夏をのりこえて、暑さ寒さも彼岸までもどうでしょうか。みんなに元気にお会いしたいと思えます。



## 日高組通信

### 【行事報告】

#### ★ 組報編集委員会

6月2日に120号、10月2日に121号の編集委員会を日高町善宗寺にて開催しました。

#### ★ 組内会

6月17日 第1回組内会を日高町円行寺にて開催しました。

#### ★ 門徒総代会

7月16日 日高組総代会前期研修会が日高町即生寺にて開催され、御坊組常照寺柳岡住職による法話を聴聞しました。

#### ★ 青少年部

7月1日 キッズサンガ準備会が日高町長覚寺で開催され、10月28日に開催予定のキッズサンガについての詳細について検討しました。

#### ★ 仏教壮年会

8月27日、研修会が由良町蓮尊寺にて開催されました。

#### ★ 組キッズサンガ

10月28日、日高町長覚寺にて開催されました。詳細は次号にて掲載します。

### 【行事計画】

#### ★ 日高組真宗法座

12月10日（日）、午後1時半から日高町志賀即生寺において第28回真宗法座が開催されます。講師は奈良教区の花岡静人師です。

#### ★ 第2回日高組内会

12月16日（土）組長事務所教専寺にて開催します。

#### ★ 第3回日高組内会

2月17日（土）由良町衣奈西信行寺にて開催します。